

図書館DX事業

新図書館管理システムでできること

図書館管理システムの更新に伴い、3月12日（木）から、自動貸出機や予約受取棚によるセルフ貸出が可能になります。

また、スマートフォンで本の貸出しができたりWEBOPACに蔵書探索AIサービスが追加されるなど、デジタル技術を活用することで図書館を一層便利に利用できるようになります。

図書館DX事業

- ① ICタグ
- ② 自動貸出機
- ③ 予約受取棚
- ④ LINE連携
- ⑤ 蔵書探索AI

① ICタグ

図書館でのICタグ導入は、貸出の自動化、蔵書点検の効率化、盗難防止、利用者サービスの向上を目的としています。

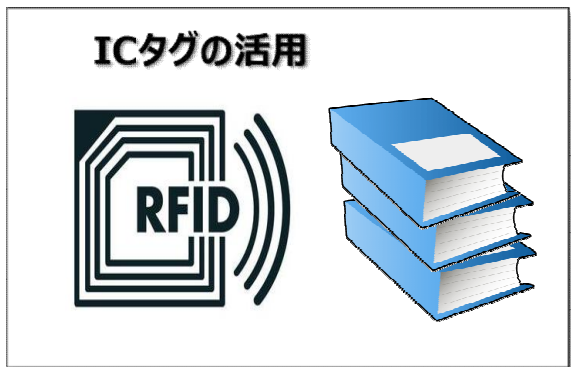
② 自動貸出機

本の貸出や貸出延長を利用者自身が簡単に行えるようになるもので、多くの図書館で進められています。操作は図書館利用者カードまたはスマートフォンのバーコードをかざし、本を台の上に置くだけで、機械が本のICタグを読み取る仕組みです。

③ 予約受取棚

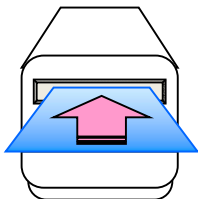
利用者がカウンターに寄らずに自分で予約本を受け取れるシステムのことです。このシステムにより、利用者の利便性向上やプライバシー保護などが実現します。

①ICタグ ②自動貸出機



図書館のICタグ（RFID）システムは、従来のバーコード管理に代わり、電波を使って蔵書を非接触で管理する技術です。本や雑誌に貼付したICタグを活用して**セルフ貸出率70%**を目指します。

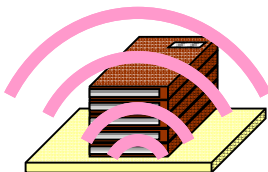
利用者認証



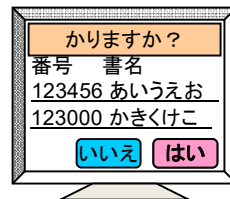
点数確認



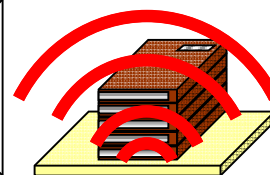
IC読み取り



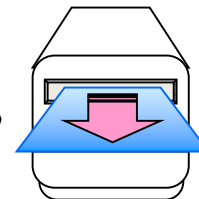
タイトル確認



IC書き込み



手続き完了

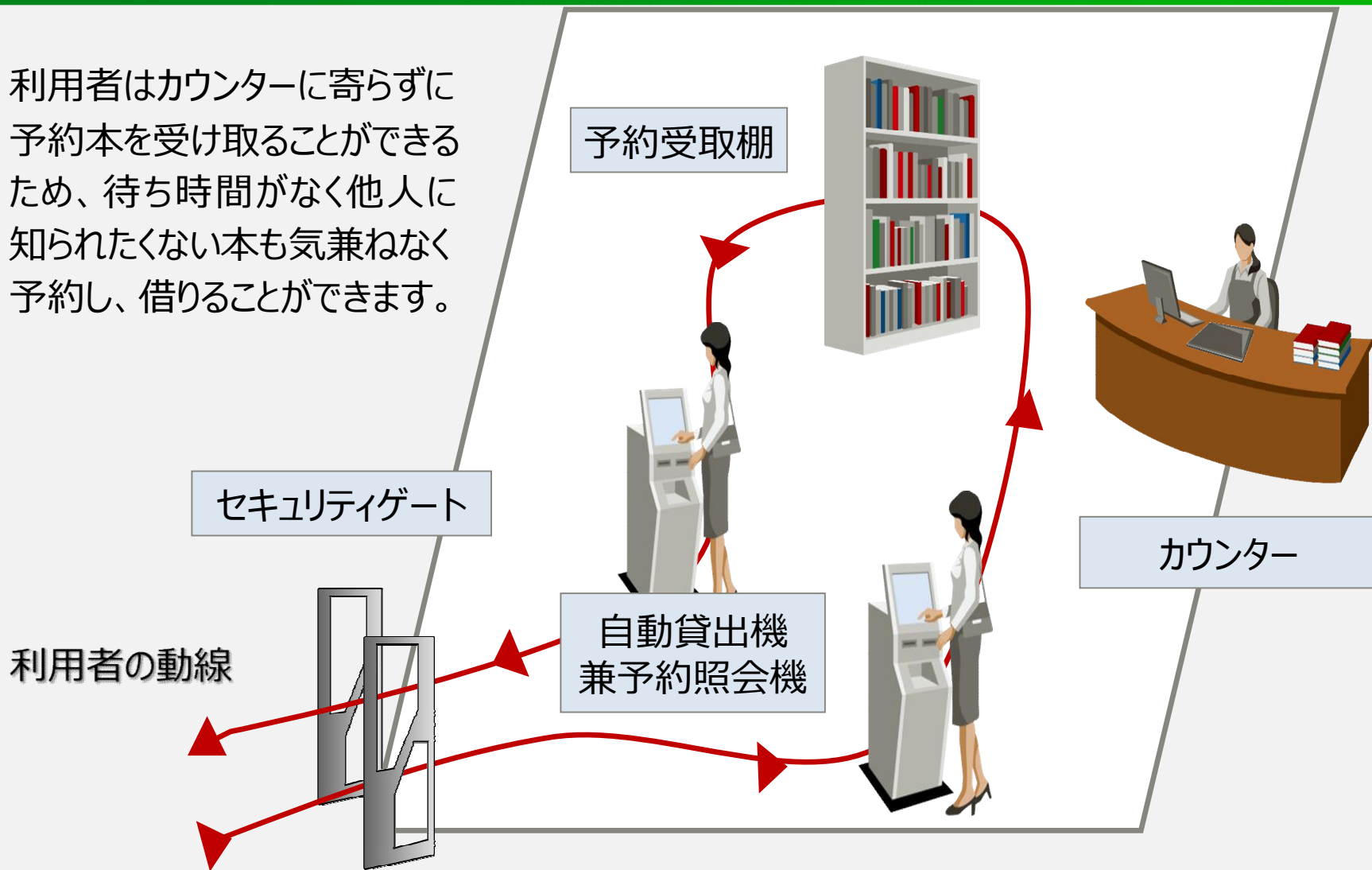


ICタグは「複数同時一括貸出処理」ができます。利用者自身で貸出処理が可能になるため、待ち時間なく、スムーズに貸出ができます。



③ 予約受取棚

利用者はカウンターに寄らずに予約本を受け取ることができるため、待ち時間がなく他人に知られたくない本も気兼ねなく予約し、借りることができます。



④ LINE 連携

図書館管理システムと、登録者が約4,000人の柴田町公式LINEとの連携により、図書館のイベント情報や新刊情報について、情報が住民の目に触れる機会を増やします。普段図書館を利用しない人や若い世代が利用しやすい図書館を目指します。

また、スマートフォンに図書館利用者カードのバーコードを表示させる機能をLINE画面から利用できるようにします。利用者は、利用者カードを持参しなくても、簡単に本を借りることができます。

④ LINE連携

図書館からの
お知らせ



- ・本の検索、予約
- ・利用者カード表示
- ・イベント告知
- ・個別通知
 - 返却予定日
 - 予約確保

- ① 図書館イベントなどの情報をプッシュ型でライン登録者に提供します。
- ② LINE画面から、図書館のWEBOPACに移動し、いつでもどこでも本の検索・予約が可能になります。
- ③ LINE画面から、図書館利用者カード画面に移動し、スマートフォンにバーコードを表示し、本を借りることができます。

⑤蔵書探索 A I

AIを活用した蔵書探索システムで、利用者が本を探す際に、タイトルや著者が定まっていなくても、日常的に使っている言葉を入力することによって、興味・関心に近い本を見つけられるシステムです。

従来のキーワード検索では出会えなかった本に出会うこともできます。また、システムの導入によって、読書の意欲を呼び起こし、図書館の利用を促進することも期待できます。

⑤蔵書探索AI

利用者は自身の関心などを表す言葉（単語でも語句でも、文でもOK）を入力します

蔵書探索AIとは？

AIにより未知の本と出会う、全く新しいサービス
AIは既存の分類にとらわれない本をご提案します



色々なキーワードを入力して
探索を行うことで、
様々な新しい本と
出会うことができます

AIが事前の学習（文献のタイトルや目次などの目録データ）に基づいて、入力された言葉と「関連度が高い」本や雑誌を表示します

☑ 読みたい



🔄 関連本



⑤蔵書探索AI(WebOPACとAI探索の違い)

WebOPAC

AI 探索サービス

検索方式


“入力キーワード” 



入力キーワードで情報を絞り込む



ヒットした書誌を表示する

“入力キーワード” 



AIがキーワードの意味を連想・拡張



関連の高い順に書誌を表示する

内容検索

検索対象外



本を特定するための**情報が利用者の中で明確化**されているときには非常に有効なサービス

内容情報を考慮して資料を探し出す



本を特定するための情報や読みたい本の**イメージそのものが曖昧な場合**に有効なサービス